

## 「多重危機が世界で進行する中で、 世界を救えるのはやはり有機農業」

2023年度の市民講座は、2020年度に引き続きまして一人の講師による通年講座といたしました。講師は、民間稲作研究所常任理事の印鑰智哉（いんやく ともや）さんです。印鑰さんにつきましては、今年2月の研究所公開シンポジウムにおいて「急速に進む命の分解」と題した報告をしていただきました。その報告内容の詳細を知りたいとの声がたくさんあり、今回の企画となりました。

### 第1回

#### 「放射線育種米がやってくる?!」

現在、私たちを取り巻く社会経済条件は年々グローバル化が進み、私たちの経済活動の単位も年々巨大化し、そのほんの一握りの多国籍企業が世界を牛耳っています。その負の現象が年々広がり、かつ深まってきています。

その負の現象とは、食料危機、生物大量絶滅危機、気候危機、健康危機といったものがあげられ、それが多重危機として同時進行しているところに大いなる問題とし私たちは抱え込んでいるわけです。こうした多重危機の中心に据えられるのは「食料危機」です。言うまでもありません、「命」に関わるからです。

食料危機は農業危機と置き換えられます。第1回目は「放射線育種米」というテーマで、ここ数年で日本のお米をすべて放射線で突然変異させた品種にする計画が進んでいることがわかりました。なぜ、そんな計画が生まれたのか、それをどうやって食い止められるかを考えます。

#### 記

期日 2023年7月26日（水）  
時間 18時00分～20時00分  
会場 NPO 法人民間稲作研究所 有機農業技術支援センター（上三川町下神主233）  
（センター内30台駐車可。電車はJR石橋駅東口からタクシーで約5分）  
申込み 氏名・連絡先を添えTEL/FAX 0285-53-1133まで。  
民間稲作研究所のホームページからも申し込みます。  
会費 500円  
定員 30名（先着順）

#### 参加申込書

先着30名です。資料準備の都合上、7月24日（月）の午前中までにお申込みください

ご氏名	フリガナ  他 名	連絡先 (電話・FAX・ メール)	
ご住所	〒		

問合せ：とちぎ有機の会 斎藤・高山（NPO 法人民間稲作研究所内）  
TEL/FAX（0285-53-1133）または同じ内容をメールで info@inasaku.org まで

年間予定（変更の際は通知やホームページでお知らせします）

2023 年度 市民講座の開催内容

	月	日	内	容
第1回	7月	26日	(水)	工業型農業が多重危機を作り出した →放射線米がやってくる？
第2回	9月	27日	(水)	遺伝子組み換え食品は何をもたらしたか？
第3回	11月	29日	(水)	「ゲノム編集」食品は何か問題か？
第4回	1月	24日	(水)	工業型農業から有機農業・アグロエコロジーへ

【付記】 開催日や内容を変更する場合がございます。あらかじめご了承ください。